

平成22年度一般会計補正予算（第2号）の 知事専決処分について

平成22年8月9日
総務部財政課

1 補正予算の趣旨

平成22年4月に宮崎県で発生した口蹄疫問題は、7月27日には非常事態宣言が解除され、事態は沈静化に向かっているところである。

このような中、7月からの南九州地方における肉用子牛市場の順次の再開は、今後、一時的な出荷頭数の急増と競り参加者の南九州市場への集中化を招くことが予測されることから、県内子牛市場における競り参加者の流出を防止し、市場価格の安定化を図るとともに生産農家の所得の安定化に繋げるため、これに要する経費について、地方自治法第179条第1項に基づき知事専決処分により補正予算を措置した。

2 専決処分日 平成22年8月9日

3 補正予算額 31百万円（補正後の一般会計予算額 535,724百万円）

4 補正予算の内容

○肉用子牛市場価格緊急安定化対策事業 31百万円（財源：繰越金31百万円）

事業概要

- ・県内肉用子牛市場において、基準価格以上で子牛を購入する場合、購入者に対し、一頭あたり2万円を助成する。

（基準価格）

- ・口蹄疫発生前の直近の県内市場単価

市場名	種 別	
	去勢牛	雌牛
島根中央	380千円	300千円
西 部	370千円	280千円
隠 岐	320千円	260千円

（対象期間）

- ・平成22年8月から平成23年1月までの6か月間に開催される県内肉用子牛市場